

合志市人口ビジョン

平成27年10月

合 志 市

目次

I.人口の現状分析	- 1 -
1. 人口の推移	- 1 -
(1) 総人口	- 1 -
(2) 年齢構成.....	- 2 -
2. 人口の増減及び移動の状況	- 3 -
(1) 自然増減.....	- 3 -
(2) 社会増減.....	- 4 -
(3) 人口移動.....	- 9 -
3. 産業別就業人口	- 11 -
II. 地域特性・その他	- 12 -
1. 市内のエリア別にみた人口動向等.....	- 12 -
2. 居住年数.....	- 14 -
3. 産業構成.....	- 15 -
4. 健康・運動	- 17 -
5. 出産・子育て.....	- 18 -
6. 帰属意識.....	- 20 -
7. 合志市のイメージ.....	- 22 -
III. 人口の変化と地域特性が地域の将来に与える影響.....	- 23 -
IV. 人口の将来展望.....	- 24 -
1. 目指すべき将来の方向	- 24 -
2. 人口の将来展望.....	- 24 -
V. 参考：合志市まち・ひと・しごとアンケート.....	- 27 -

I.人口の現状分析

1. 人口の推移

(1) 総人口

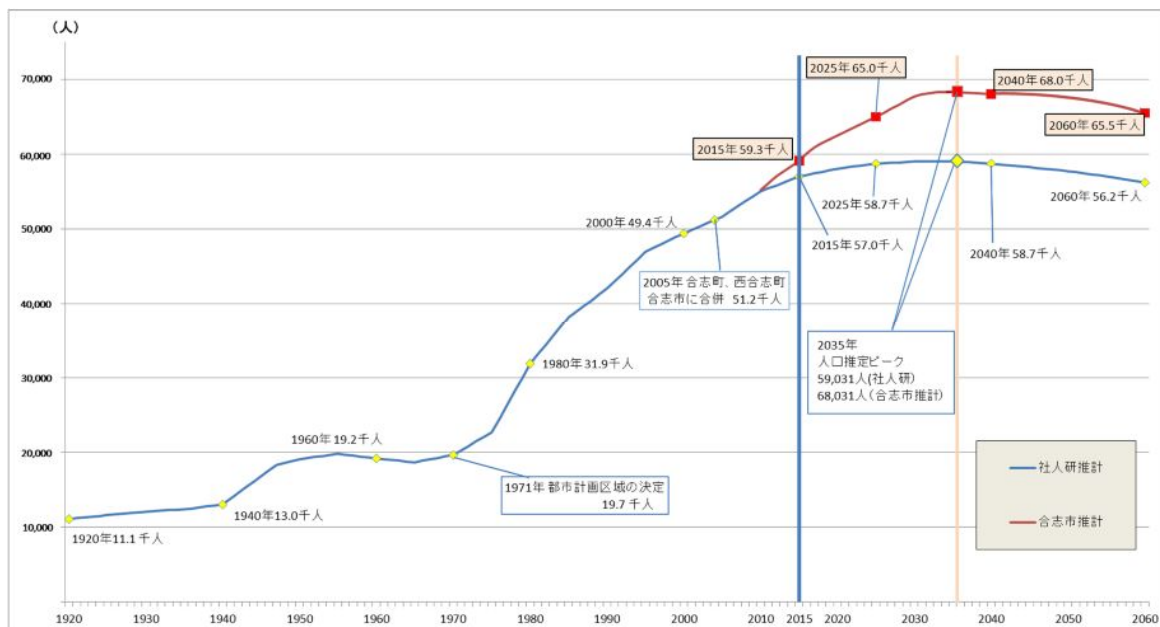
本市の2015年7月末時点の人口(住民基本台帳)は、59,288人で、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の「日本の地域別将来人口推計」(以下「社人研推計」という。)より2,300人程上回っています。

人口の推移をみると、1975年あたりから急激な人口増加がはじまり、熊本市周辺という通勤、通学の利便性及び適度な住宅価格帯であること、また市内工業団地等への企業進出の影響から現在も増加傾向が続いています。

社人研推計によると、今後もさらに人口増加が続き、2035年あたりにピークを迎え、その後、減少に転じることが予測されています。本市の人口減少に転じる時期は、全国(2008年)や熊本県(1998年)と比較すると20年から30年遅くなっています。

現在、本市の人口は社人研推計を上回るペースで増加しており、本市による推計(合志市総合計画第2次基本構想、計画期間:2016年~2023年)では、2025年には約6万5千人まで増加すると見込んでいます。

総人口推移



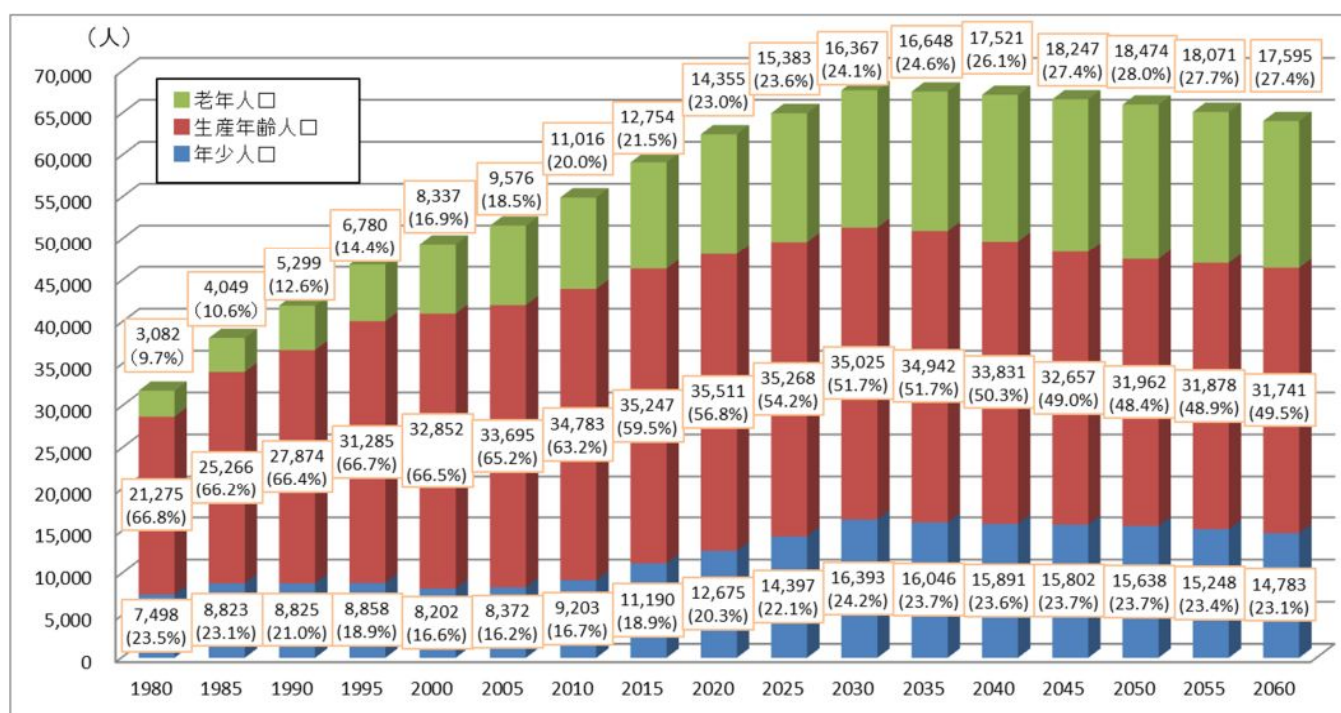
- ・青線グラフは、2014年までは「国勢調査、人口推計」(総務省)、2015年以降は「社人研推計」より
- ・赤線グラフは、2014年まで合志市の実績値、2015年以降2031年までは「合志市総合計画の推計」、2032年以降は「社人研推計」の仮定値を参考に作成。

(2) 年齢構成

本市の 2014 年 10 月 1 日現在の人口の構成は、年少人口（0～14 歳）が 17.0%、生産年齢人口（15～64 歳）が 59.7%、老年人口（65 歳以上）が 25.7%となっており、熊本県全体と比較すると年少人口及び生産年齢人口の占める割合が高く、高齢化率は県内 45 市町村のなかで 3 番目に低くなっています。

しかし人口推移をみると、1995 年を境に老年人口は年少人口を上回っており 2050 年の 28.0%をピークに微減傾向で推移していきます。生産年齢人口割合は 2050 年まで減少の一途をたどり、2010 年から 2040 年までに 8.8 ポイント減少すると見込んでいます。

総人口・年齢 3 区分別人口推移



・2010 年までは「国勢調査」（総務省）より、2015 年以降は「合志市総合計画の推計」及び「社人研推計」より作成

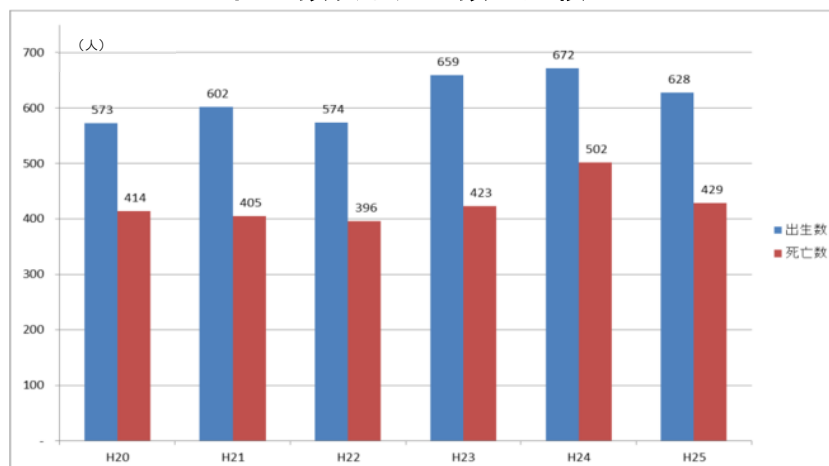
2. 人口の増減及び移動の状況

(1) 自然増減

①出生数及び死亡数

近年、出生数が死亡数を上回る傾向が続いており、自然増減においては増加を維持しています。

出生数及び死亡数の比較



「熊本県衛生統計年報」(熊本県)より

②合計特殊出生率・出生数

合計特殊出生率の推移をみると、およそ国や熊本県と同様の動向を示していますが、数値は国、熊本県を上回っており、2014年(概数値)では国が1.42、熊本県が1.64であるのに対し、本市は1.85と高い水準になっています。

合計特殊出生率(合志市、熊本県、国)



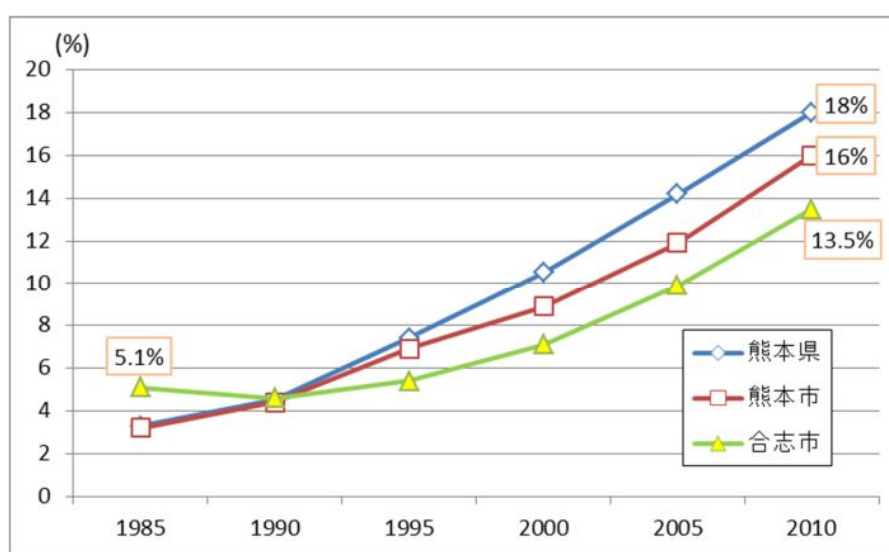
※合計特殊出生率とは、一人の女性がその年次の年齢別出生率で、一生の間に産むとしたときの子どもの数を表したものの。

③生涯未婚率

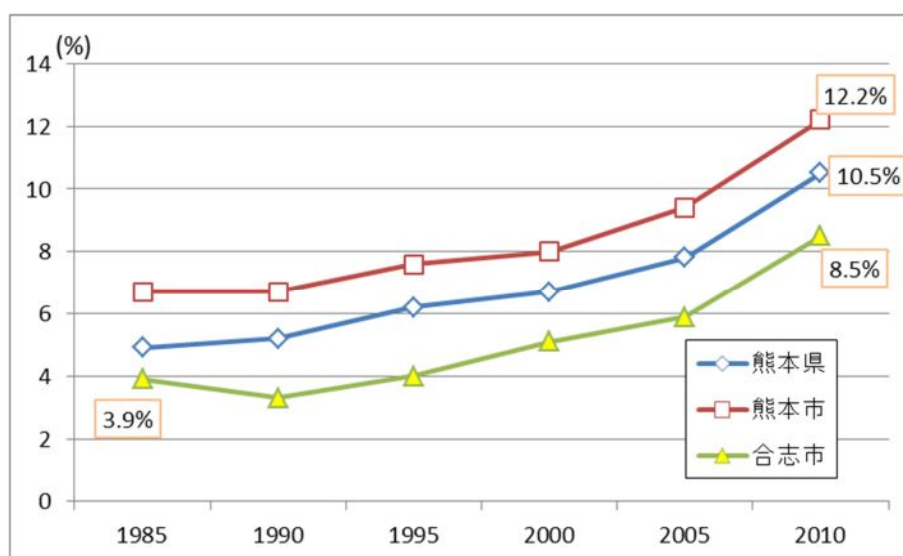
出生数に影響を及ぼす要因の一つとされている生涯未婚率の本市の状況は、2010年において男性13.5%、女性8.5%と、熊本県及び熊本市より低くなっていますが、男女共に上昇傾向となっています。

男女別にみると、男性の方が高い傾向にあり、1985年と2010年を比較すると、女性が4.6ポイントの上昇に対して男性は8.4ポイントの上昇となっています。

生涯未婚率（男）



生涯未婚率（女）



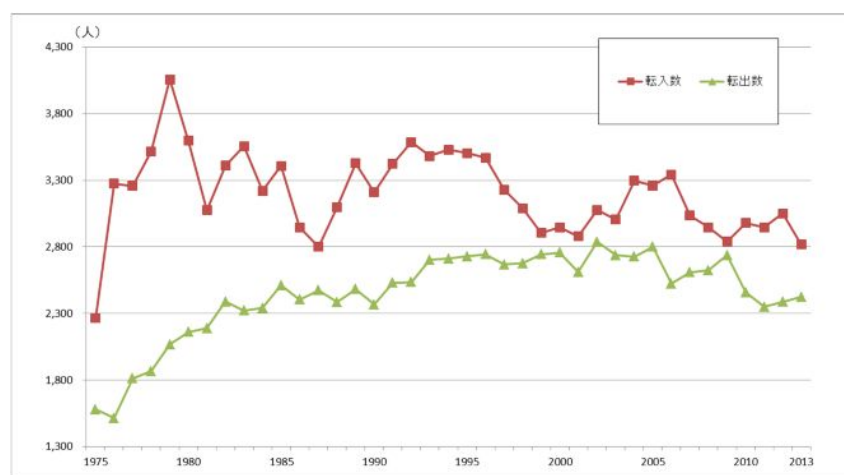
「国勢調査」（総務省）より作成

(2) 社会増減

① 転入・転出の状況（総数）

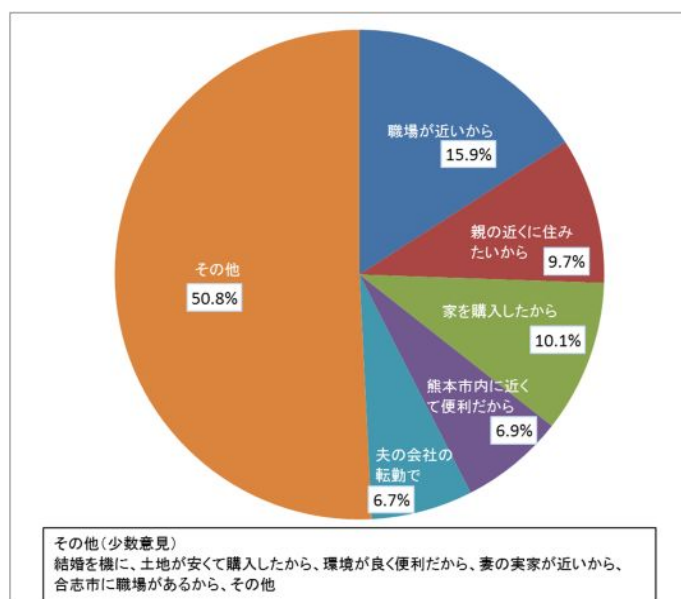
本市では、転入超過が続いており、人口増加の要因となっています。また、市民 6,000 人を対象に実施した「合志市まち・ひと・しごとアンケート」によれば、本市へ転入した理由として「職場が近いから」が最も多い回答となっており、次いで「親の近くに住みたいから」、「家を購入したから」などとなっています。

転入数・転出数推移



「人口動態統計」（厚生労働省）より

② 本市へ転入した理由



「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より（回答 961 人）

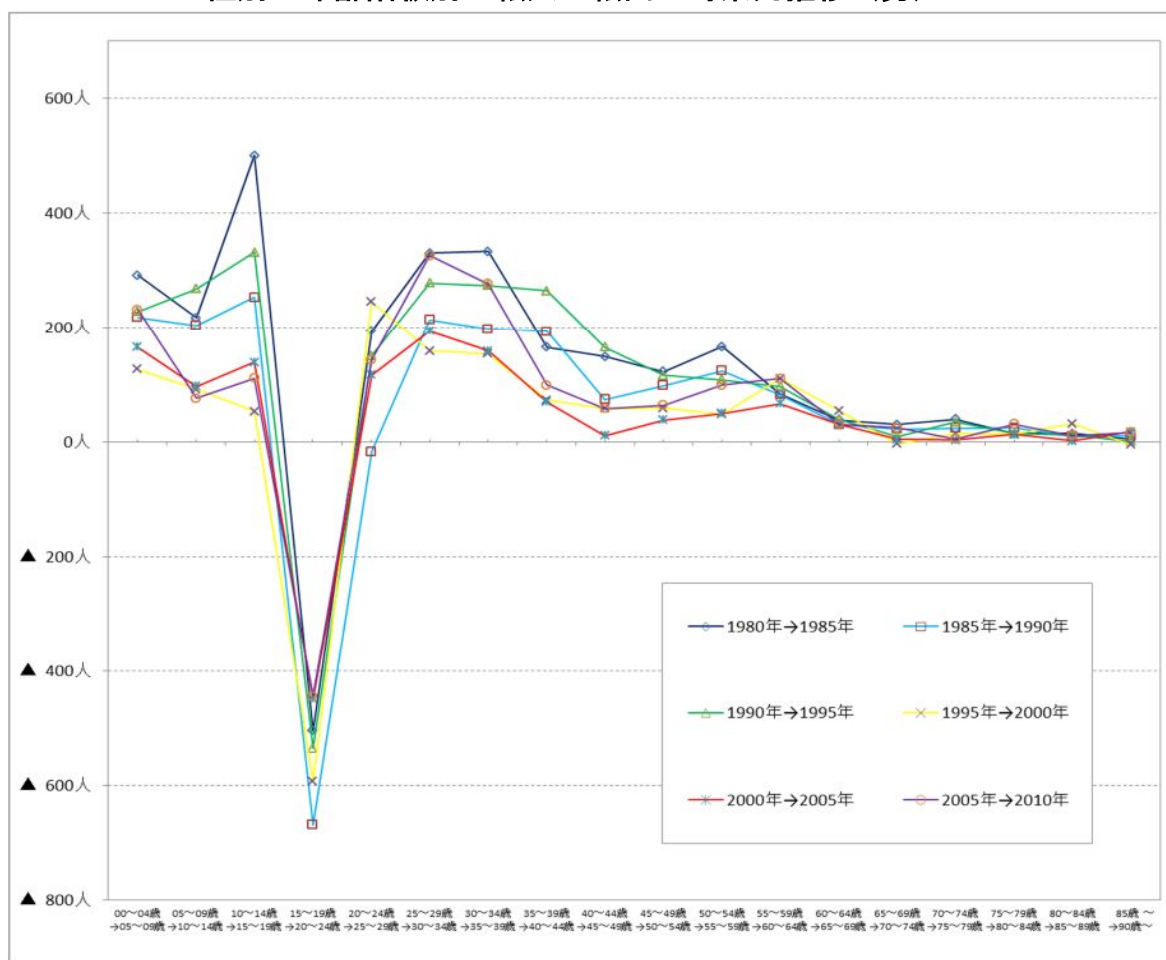
③世代別・男女別にみた転入・転出の状況

世代別の転入・転出の大きな特徴は、「15 歳から 19 歳」の世代が「20 歳から 24 歳」となる期間（5 ヶ年）での転出が極端に多いことです。2010 年時点において、転出数が転入数を上回っているのは当該世代のみとなっています。これは、大学進学や就職を契機に市外あるいは県外へ転出していることが主な要因と推測されます。

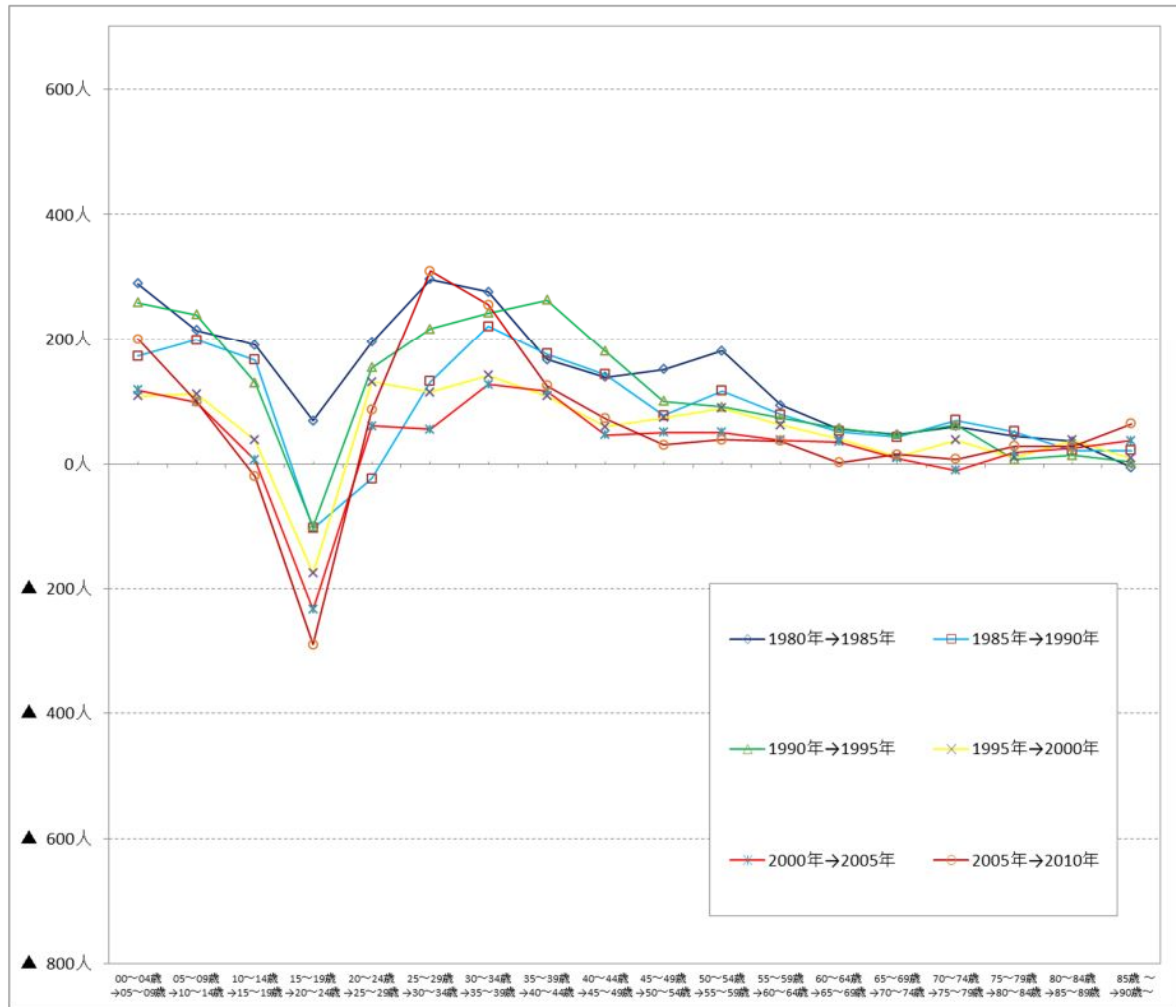
その一方で、2005 年から 2010 年の動向をみると、「25 歳から 29 歳」の世代が「30 歳から 34 歳」となる期間が最も多い転入超過となるなど、子育て世代の転入が全体の転入増加の下支えとなっています。

若年層の転出超過の状況を男女別にみると、男性の方が多くなっています。ただ、時系列にみれば男性の転出超過が縮小傾向であるのに対して、女性の転出超過は拡大傾向にあります。

性別・年齢階級別 転入・転出の時系列推移（男）



性別・年齢階級別 転入・転出の時系列推移（女）

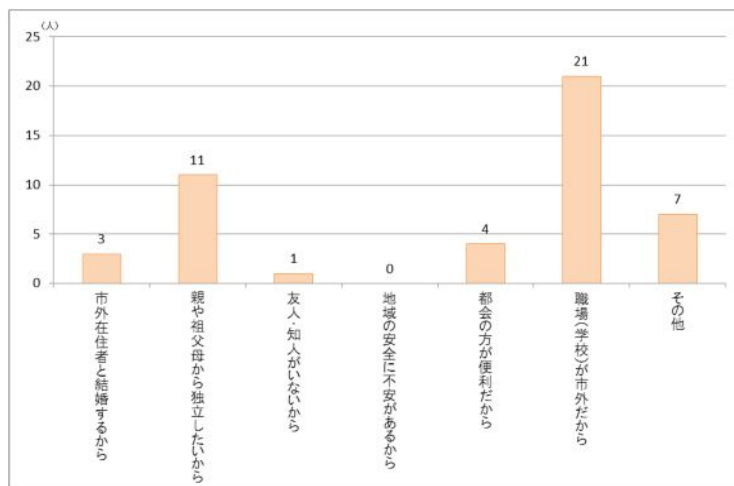


「国勢調査」（総務省）より

④転入出に関する意識調査

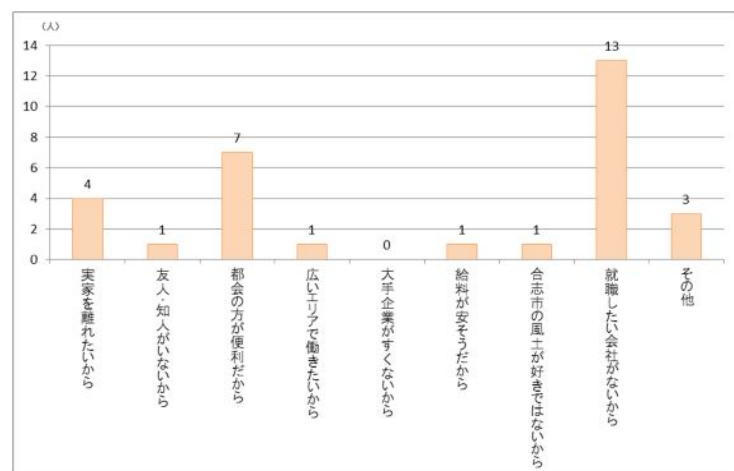
「合志市まち・ひと・しごとアンケート」では、15歳から24歳の世代で「市外への引越しを考えている」との回答は47人あり、対象者（15歳から24歳の世代126人）の約37%でした。その理由について、約45%は「職場（学校）が市外だから」と答えています。

市外への引越しを考えている人（15歳から24歳）のその理由



また、「市外への引越しを考えている」と答えた人に対する「将来は合志市に戻って住みたいと思いますか」の問いに、約66%の31人が「いいえ」と回答しています。その理由について、約42%が「就職したい会社がないから」と答えており、若者の転出には仕事に関する環境が大きく影響していることがうかがえます。

市外への引越しを考えている人（15歳から24歳）のうち、合志市に戻らないと考えている人のその理由



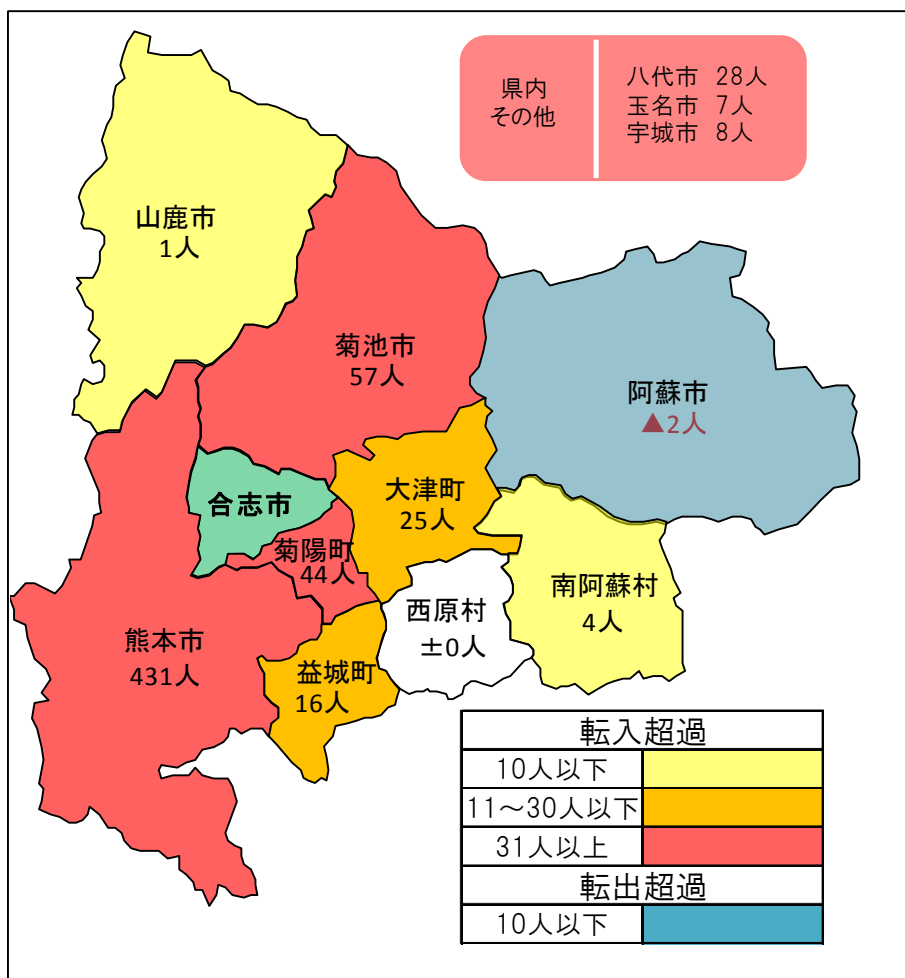
「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より

(3) 人口移動

① 転入先、転出先の状況

2013 年の本市への転入者（2871 人）のうち、約 7 割が熊本県内からの転入となっており、特に熊本市、菊池市、菊陽町、大津町からの転入超過数が多くなっており、県外では関東への転出が多くなっています。

地域別転入出の状況と超過（2013 年：県内）



地域別転入出の状況と超過（2013 年：県外・その他）

県外・他								
関東	関西	福岡県	長崎県	佐賀県	大分県	宮崎県	鹿児島県	外国他
▲57人	0人	▲18人	25人	▲14人	7人	3人	▲18人	64人

平成 25 年 住民基本台帳（総務省）より作成

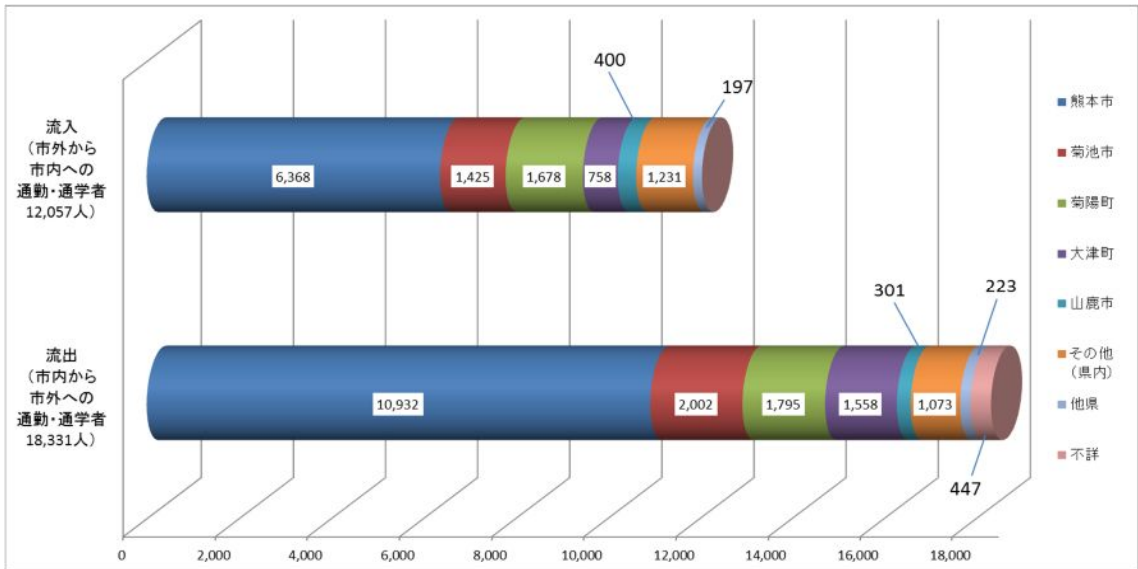
②昼夜間人口

本市の通勤・通学による人口の動きをみると、本市以外に住む人が本市へ通勤・通学する人数（流入）よりも、本市に住む人が本市以外へ通勤・通学する人数（流出）が上回っています。

平成 22 年時点で 6,274 人の流出超過で、昼間の人口は 48,728 人（平成 22 年国勢調査人口 55,002 人）となり、昼夜間人口比率（夜間人口 100 人当たりの昼間人口）は 88.59%となっています。

人口の流出先としては、熊本市が1万人を超えて最も多く、県外では流入・流出ともに福岡県が最も多くなっています。

通勤・通学による人口の動き（流入・流出）の比較（平成 22 年）



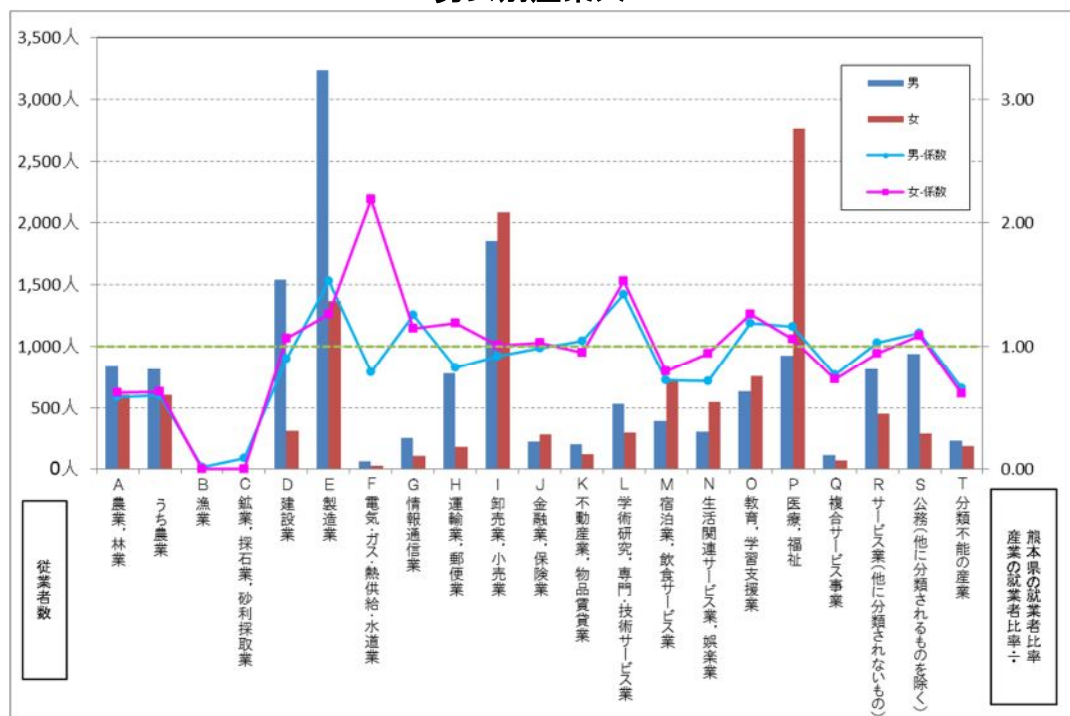
「国勢調査」(総務省)より

ただし、熊本都市圏域のパーソントリップ調査（実施：熊本都市圏総合交通計画協議会）によれば、本市と熊本市との通勤・通学における人口の流動の差は近年縮まりつつあり、熊本市から本市への通勤等の流入は増加しています。

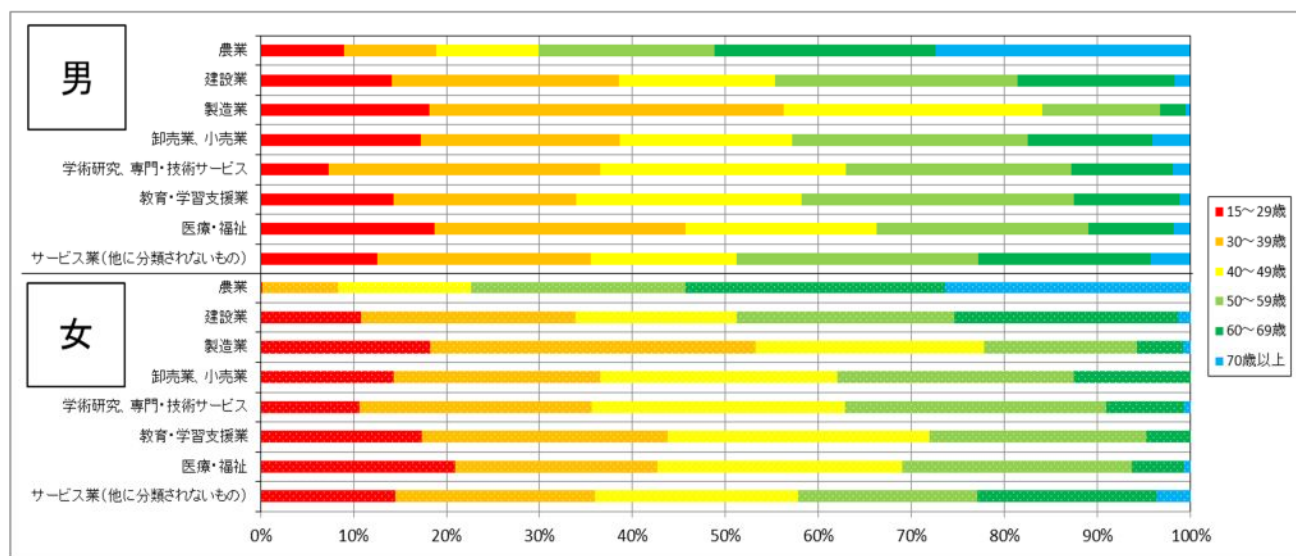
3. 産業別就業人口

男女別の産業人口をみると、男性では製造業、女性では医療・福祉の就業者が最も多くなっています。また、年齢階級別産業人口をみると、農業従事者は男女共に70%以上が50歳以上となっています。

男女別産業人口



年齢階級別産業人口割合(主なもの)



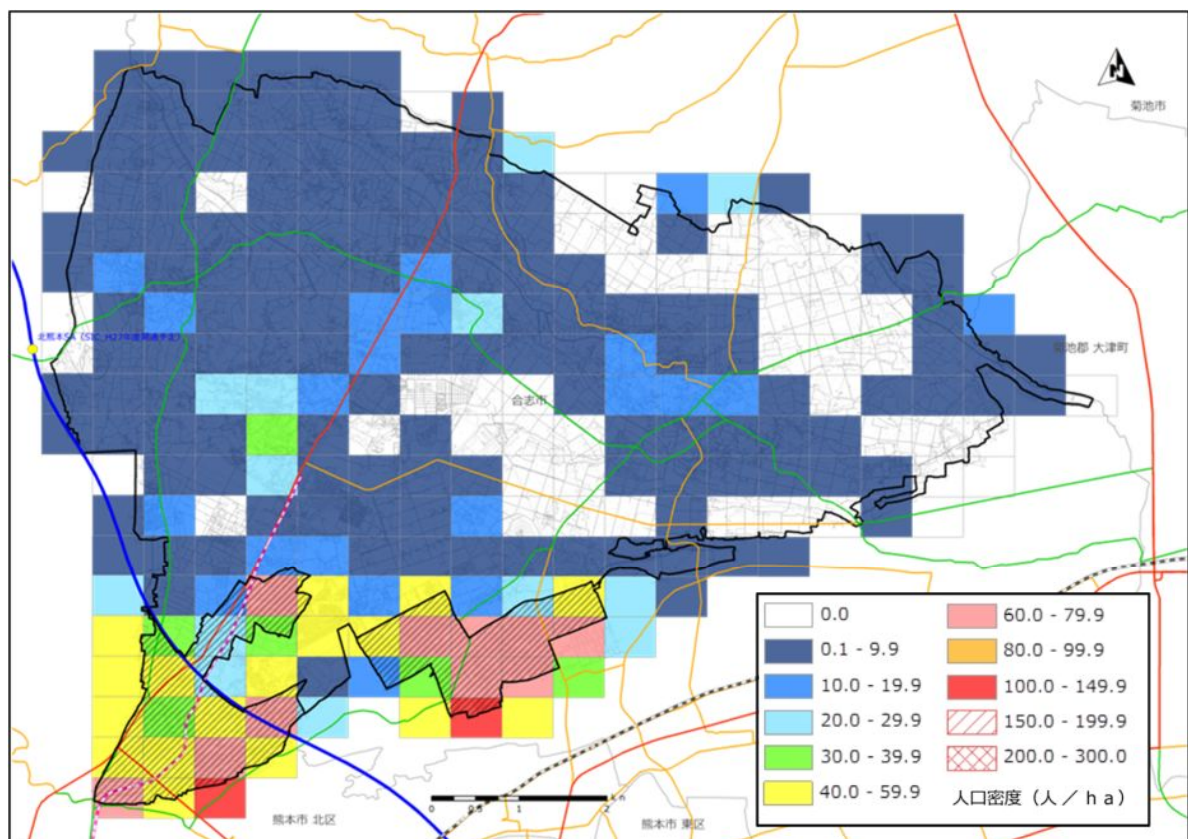
経済センサス 平成 24 年

Ⅱ．地域特性・その他

1．市内のエリア別にみた人口動向等

本市は、農地が広がる北部地区と住宅地や商業施設が並ぶ南部地区に大きく分けられ、人口は南部地区に集中しています。それは、昭和46年に熊本県が指定した熊本都市計画区域によって、市内面積の約1割（南部地区の一部）を計画的な市街化を図る市街化区域とし、9割を優れた自然環境等を守る市街化調整区域として指定されたことが大きな要因です。そのため、市街化区域である南部地区の住宅地などで特に高い人口密度となっています。

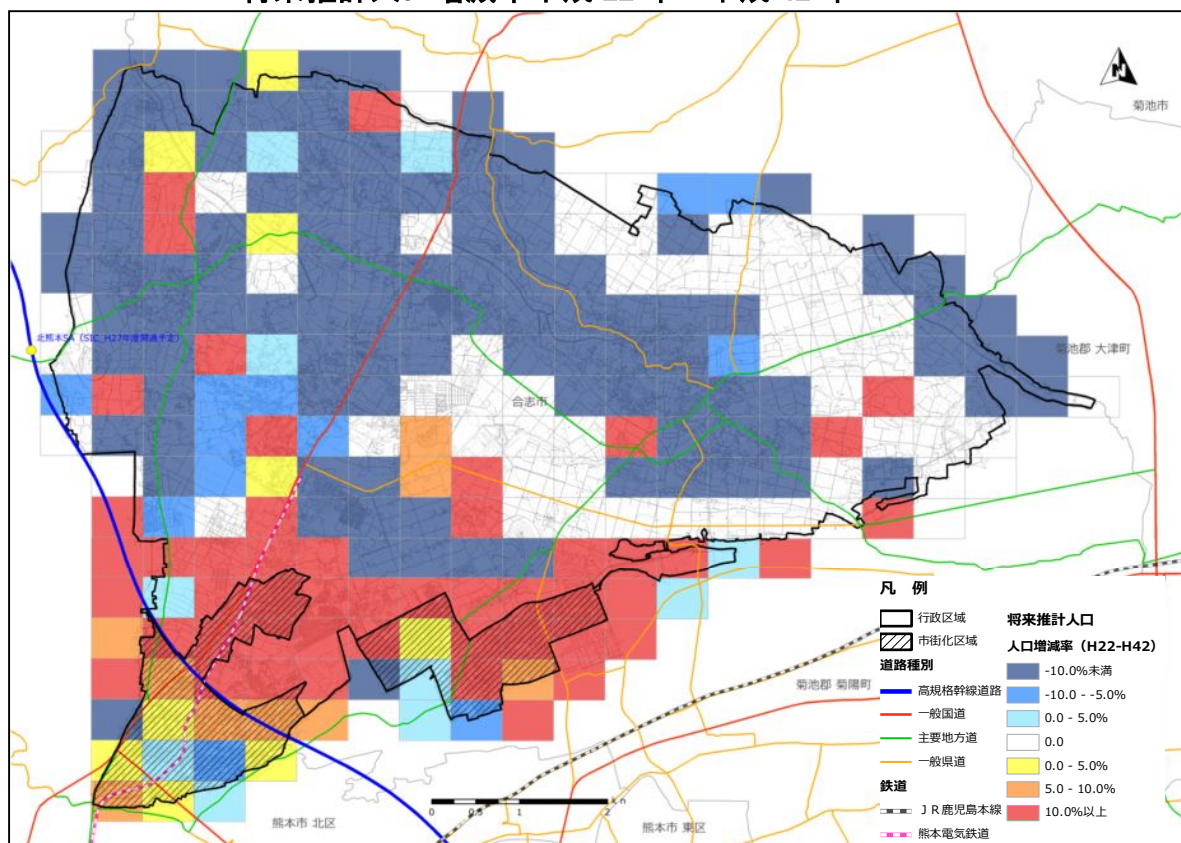
地区別人口密度現況図（500m メッシュ集計）



合志市都市再興のための PRE 活用検討調査より抜粋

今後の人口増減の予測としては、南部の陽光台、桜和の丘周辺のほか、御代志駅周辺や合志庁舎周辺、北部の野々島などで人口の増加が見込まれています。

将来推計人口増減率平成 22 年～平成 42 年



合志市都市再興のための PRE 活用検討調査より抜粋

2. 居住年数

「合志市まち・ひと・しごとアンケート」で現在の住居に住んでいる年数をたずねたところ、北部の合志小学校区では、半数以上が20年以上の居住年数となっている一方で、転入者の多い南部の西合志東小学校区では、居住年数5年未満が4分の1を占めています。

全体の居住年数別では、3年未満が13.9%、3年から5年が8.7%、5年から10年が13.7%、10年から20年が21.9%、20年以上が41.9%となっています。

小学校区別居住年数



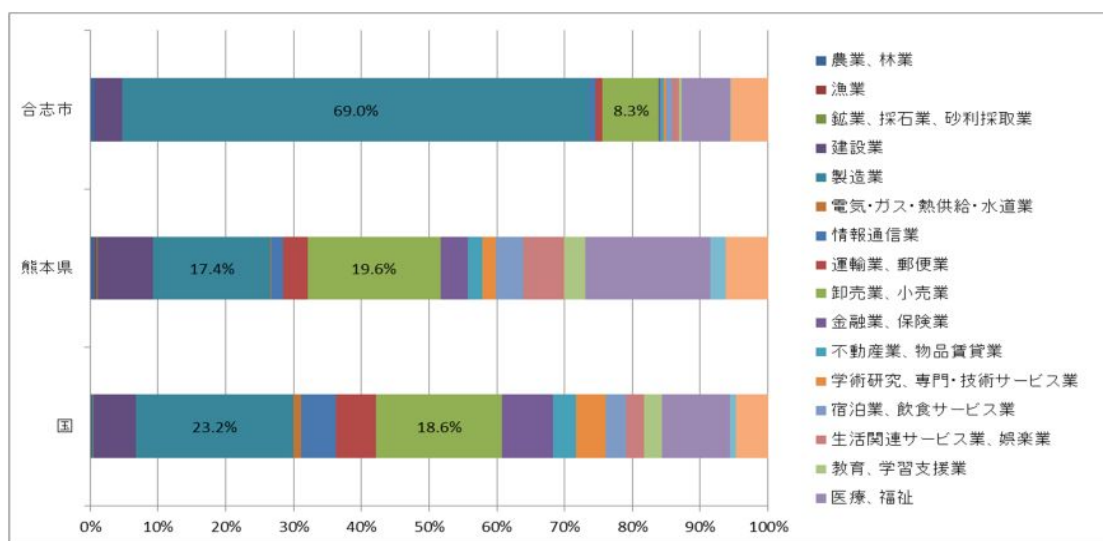
「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より作成



3. 産業構成

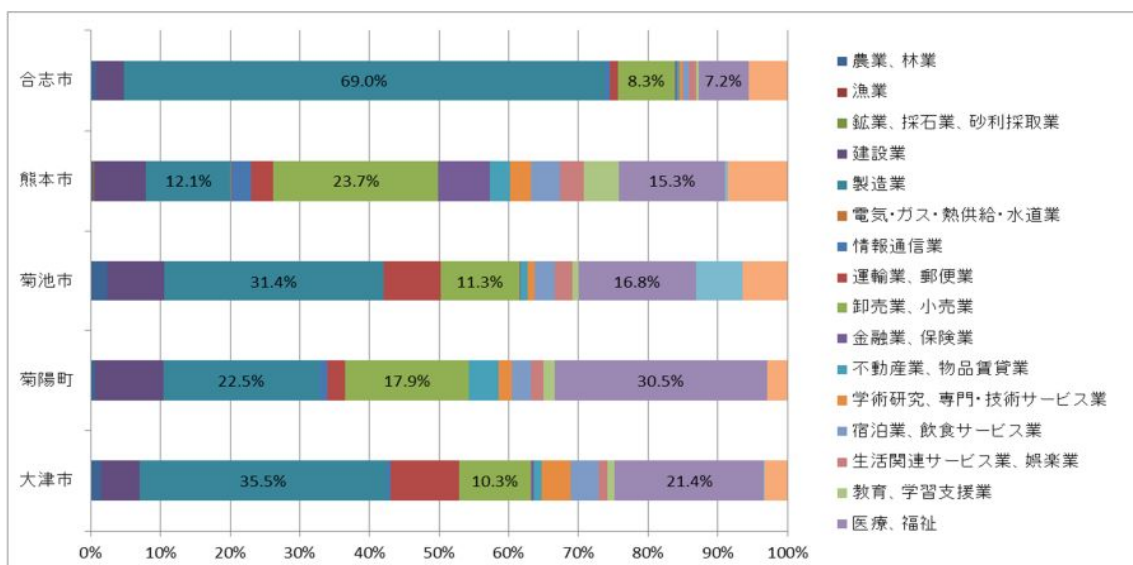
産業の構成比率を付加価値額ベースで表すと製造業が全体の約7割を占めています。また国、県においては2割近くを卸売業、小売業が占めているのに対し当市では1割を満たしていません。近隣自治体との比較でも、同業種の割合が低く、消費先、勤務先としても人口流出に大きく影響しています。

付加価値額構成比率の比較（合志市、熊本県、国）



※ 付加価値額＝売上高－（売上原価＋販管費）＋給与＋租税公課

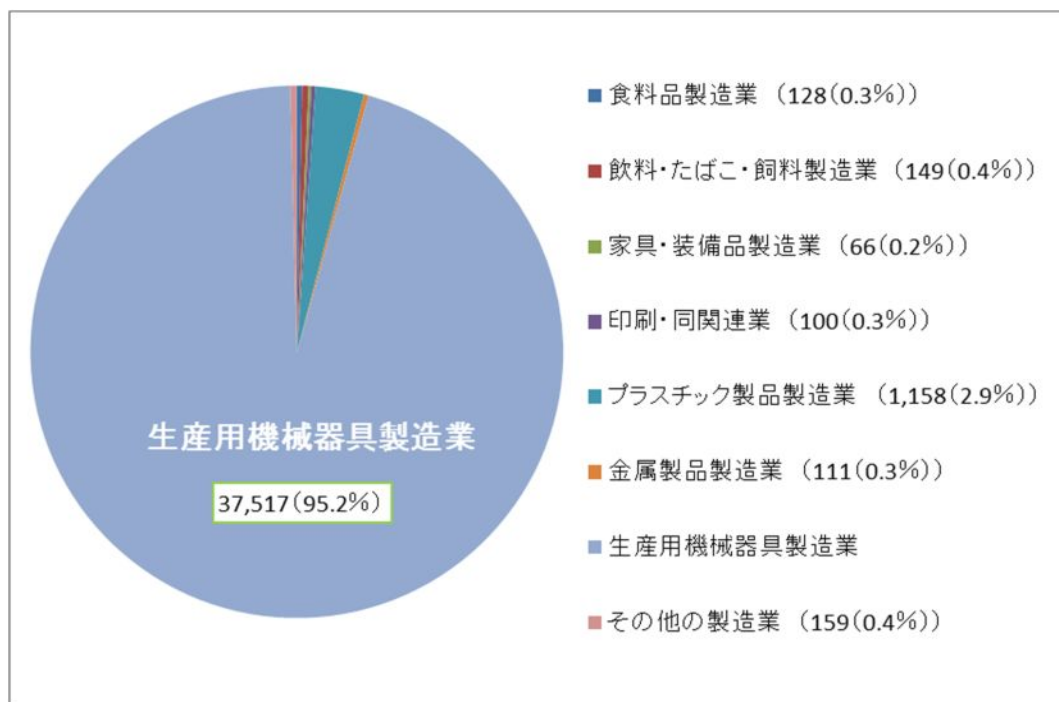
付加価値額構成比率の比較（合志市及び近隣自治体）



経済センサス 平成 24 年

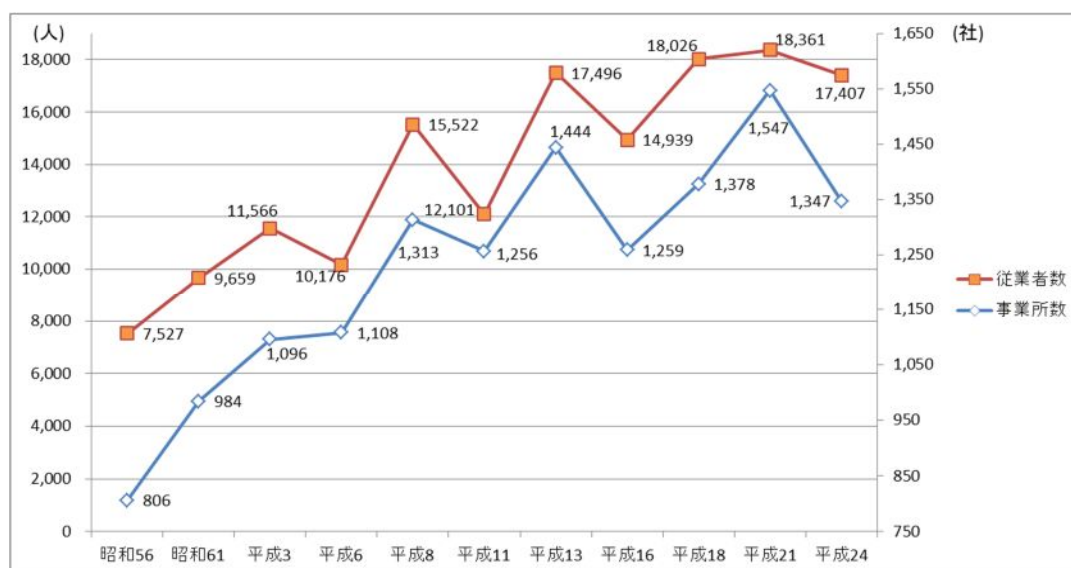
製造業の内訳では、生産用機械器具製造業が全体の 95%を占めており、特定の企業への依存が高くなっています。

製造業業種内訳（中分類名）



経済センサス 平成 24 年

従業者数と事業所数推移



事業所・企業統計調査（平成 18 年まで）平成 21 年、平成 24 年は経済センサス

4. 健康・運動

今後、高齢化により社会保障費の財政負担増が懸念される中、合志市は同規模自治体と比較して、国民健康保険特定健診の未受診者で生活習慣病に係る医療費が高い傾向にあります。なかでも、生活習慣病を見る指標のひとつである、LDL（悪玉）コレステロールの高い人の割合は、県下14市中1位になっています。（平成24年度 合志市特定健康診査）

また、平成27年度の市民意識調査（アンケート）では、健康や体力の保持・増進のために運動を週2回以上行っている人が32%、週1回程度が13%、ほとんど行っていない人が45%という結果が出ています。

一方、「今後スポーツに取り組んでみたいと思うか？」という質問に対しては「思う」の回答が59.3%と高くなっており、現在運動を行っていないが、機会があれば運動したいという、行動変容が起きやすい層があることが伺えます。

健診受診者と未受診者の一人当たりにかかる医療費の同規模自治体との比較

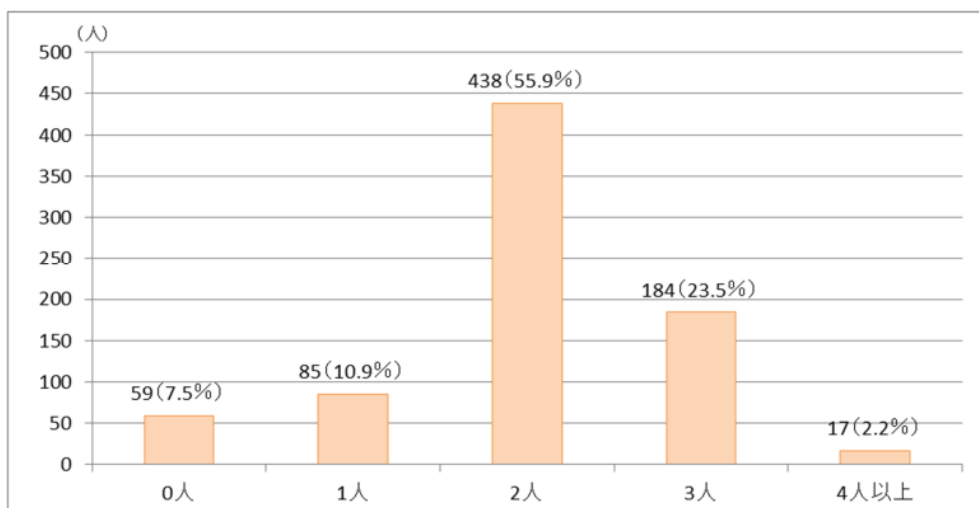
	医 療 費	健 診	合志市	熊本県	人口同規模自治体
外 来	生活習慣病 一人当たり 費 用 額	受 診 者	8,793 円	9,736 円	11,036 円
		未受診者	36,453 円	27,461 円	27,285 円
	一人当たり 費 用 額	受 診 者	2,013 円	3,615 円	3,931 円
		未受診者	8,346 円	10,197 円	9,718 円

平成25年度 国民健康保険連合会

5. 出産・子育て

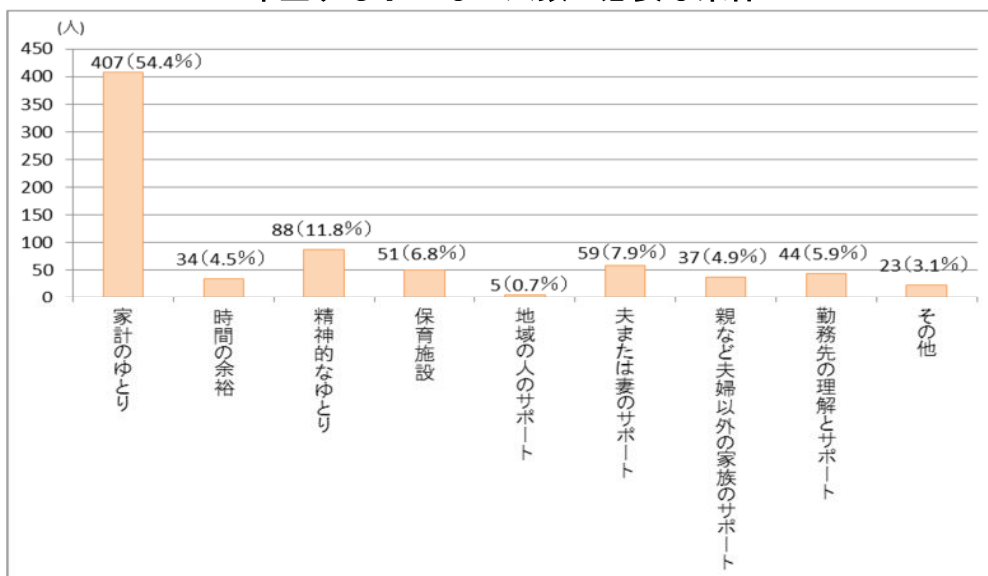
「合志市まち・ひと・しごとアンケート」で「何人子どもを欲しいと思うか」の問いに対し、「2人」の回答が最も多く55.9%、次いで「3人」の23.5%、「1人」が10.9%などとなりました。

希望する子どもの人数



また、希望する子どもの人数に必要な条件の問いでは「経済的なゆとり (55.4%)」が最も多く、次いで「精神的なゆとり (11.8%)」などとなっています。

希望する子どもの人数に必要な条件



「合志市まち・ひと・しごとアンケート」(合志市) より

本市での子育ての環境を評価してもらったところ、「子どもの医療費負担」、「緑や自然、まちなみなどの景観」などに対する評価が高く、反対に「保育園、幼稚園の入りやすさ」、「就職のしやすさ」の評価が低い結果となりました。

子育ての環境評価



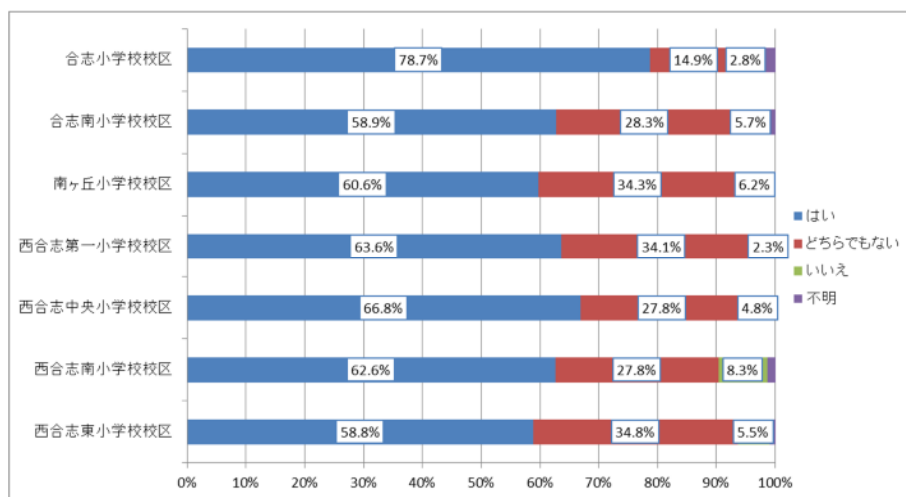
「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より

6. 帰属意識

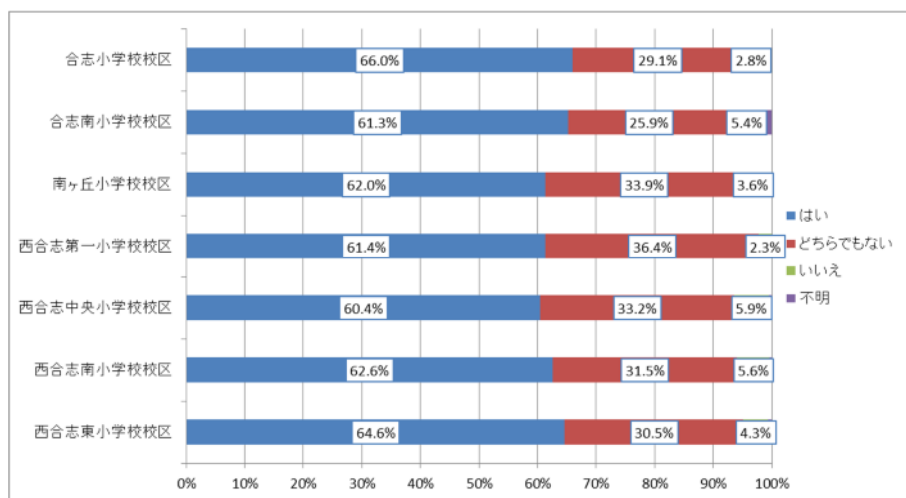
「合志市まち・ひと・しごとアンケート」で、本市への愛着やまちづくりへの関心などの帰属意識をたずね、小学校区別に分析を行いました。

居住年数も長く、高齢化が進む北部地区（合志小学校区）では、4項目「①愛着」「②まちづくりへの関心」「③市民同士の交流」「④地元といえるか」の全てにおいて割合が高くなっているのが特徴として表れています。

① 合志市に愛着があるかどうか

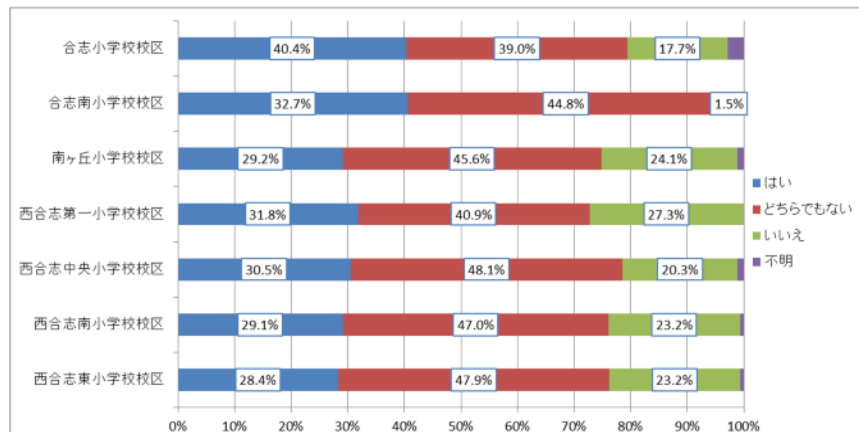


② まちづくりに関心があるかどうか

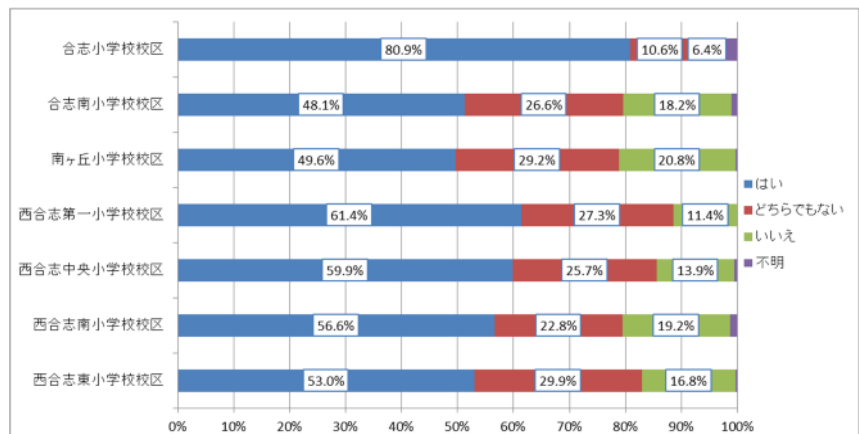


「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より

③ 子ども会やPTA、自治会などの市民同士の交流を求めているか



④ 合志市は「地元」といえるかどうか



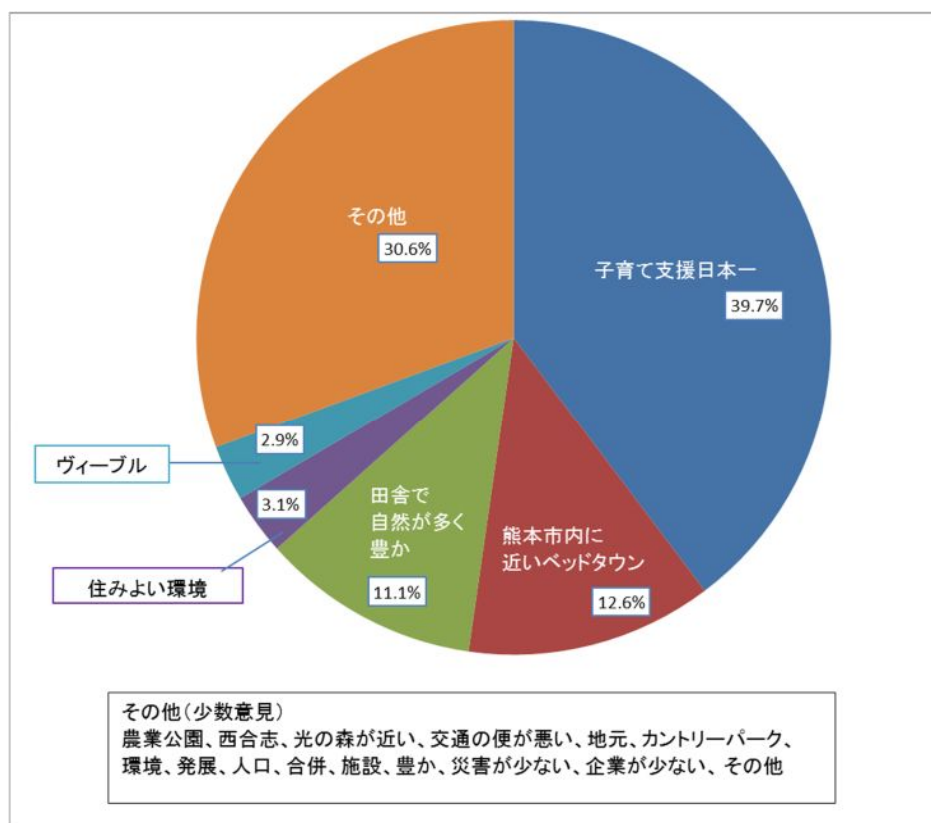
「合志市まち・ひと・しごとアンケート」(合志市) より



7. 合志市のイメージ

「合志市まち・ひと・しごとアンケート」で「合志市と聞いて何を連想するか」という本市のイメージをたずねたところ（自由記述）、全体の3割以上の方が「子育て支援日本一」と答え、最も多いイメージとなりました。次いで、「熊本市内のベッドタウン（11.3%）」「田舎で自然が多い（10.0%）」などの回答がありました。

合志市と聞いて連想するイメージ



「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より

Ⅲ. 人口の変化と地域特性が地域の将来に与える影響

(1) 地方財政への影響

- ・ 老年人口比率が高まることによる社会保障費の増加、また生産年齢人口の減少による、税収負担世代の縮小も重なり、財政運営は更に厳しくなることが予測されます。
- ・ 転入者が南部地域に集中し続けることにより、既存のインフラ等に係る過剰な負荷が懸念され、改修や新規設備投資への負担が予測されます。

(2) 地域経済への影響

- ・ 合志市外での消費活動が続くと、市内の小売業、飲食業を中心とした企業は消費者需要を感じにくく、出店を控えることが予測され、商業全体の衰退につながります。
- ・ 若年層の転出超過により、人材不足や一部地域においてコミュニティの偏りが発生し地域全体の衰退につながります。
- ・ 特定製造業への依存が高いため、経済動向による影響を受けやすくなっています。

(3) 土地利用・住宅への影響

- ・ 新規住宅地開発が終息し、転入者が減少すると社会増減の逆転を迎えます。
- ・ 特に 2040 年以降は、老年人口比率が高まり、南北地域格差、また北部住宅地内でも高齢化地域が生まれ、コミュニティ維持の困難や、新規入居の敬遠が予測されます。
- ・ 既存家屋の空き家も増加し、景観、防犯、防災等のへの対策が必要となります。

IV. 人口の将来展望

1. 目指すべき将来の方向

全国より約10年早く人口減少の局面に入っている熊本県にあって、本市の人口は今後も緩やかな増加が続き、2035年あたりをピークに減少に転ずることが予想されています。

人口推移だけをみると、本市にとって人口減少問題は比較的深刻ではないように見えますが、人口のピークアウトは必ず迎え、高齢化は着実に進みつつあります。

また、総人口が増加する状況にあっても、若年層（19歳から24歳）だけは転入数より転出数が上回る社会減となっており、本市で生まれ育った多くの若者が市外に流出しています。

さらに、これまで人口増加の受け皿となってきた市南部地域に点在する新興住宅地は、それぞれ同世代の住民が多く住んでいるため、局地的な高齢化が一気に進み、地域の活力やコミュニティが低下すること考えられます。

そのため、総人口と年齢構成を車の両輪として、適正なバランスを保ち続けることが重要です。

また、熊本県全体から本市をみた場合、熊本都市圏と県北部をつなぐ重要な拠点として、熊本県内から首都圏等への人口流出を防ぐ役割を担っていくことが求められます。

以上のことを踏まえ、国や熊本県、関係市町村等と連携しながら、企業や地域住民等と一体となって活力ある地域社会を創生していくとともに、熊本県の成長エンジンとして地方創生を牽引するため、次の4つの視点により、全ての人が安全に、安心して暮らすことができるまち「健康都市こうし」の実現を目指します。

（１）稼げる地域産業をつくる

本市の雇用や産業付加価値を中心的に支えている製造業や重要な基幹産業である農業など、現在の地域産業のさらなる強化を図るとともに、環境やヘルスケア、デジタルコンテンツなど今後成長が見込まれる新たな産業を地域に呼び込み、産業の多様化と異業種間連携等によるイノベーションを創出し、地域産業の稼ぐ力の向上を目指します。

（２）合志市への新しいひとの流れをつくる

地域の次世代を担う若者の流出を防ぐため、市内若しくは通勤圏内への就業を高めるとともに、ＵターンやＩターンなど市外からの人材を受け入れる環境づくりを推進します。

また、豊かな農業や広大な公園施設、温泉や公共交通機関など、地域の観光資源を有機的に結びつけ、関係市町村等とも連携しながら、交流人口の拡大を目指します。

（３）市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の結婚、出産、子育ての希望を実現するため、行政、事業主、地域社会等が一体となって、子どもの健やかな成長と子どもを産み育てられるまちづくりを目指します。

（４）暮らしに満足し、住み続けたい地域をつくる

農地が広がる市北部地域と市街化が進む市南部地域、市の全体面積の約１割を占める国・県有地など本市の土地利用に関する特性を踏まえながら、にぎわいを創出するまちづくりを積極的に進めるとともに、人口減少・高齢化社会や変化し続ける地域コミュニティなどに柔軟に対応し、地域住民の豊かな暮らしの実現を目指します。

2. 人口の将来展望

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」では、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持するため、合計特殊出生率が 2030 年までに 1.8、2040 年頃までに 2.07 に向上し、2060 年に 1 億人程度の人口を確保することを想定しています。

また、熊本県の「熊本県人口ビジョン」では、合計特殊出生率が 2030 年までに 2.0、2040 年までに 2.1 に向上し、人口の社会減を 2020 年までに現在の半分程度に縮小し、2060 年の人口が 144.4 万人となることを見込んでいます。（社人研の推計より約 26.8 万人の減少を抑制）

本市においては、「1. 目指すべき将来の方向」にかかげた 4 つの視点に基づく施策を展開し、地方創生が実現された場合の人口の将来展望は次のとおりです。

本市の 2060 年の人口は 68,000 人で、2035 年あたりに迎える人口ピークの水準を維持し続けている。（社人研の推計より約 11,800 人増加）

- （1）合計特殊出生率は、2030 年までに 2.1 に上昇し、その後は 2.1 で推移する。
- （2）本市で生まれ育った若者（15 歳から 24 歳）の人口流出は、2040 年までに現在の半分程度まで縮小する。
- （3）生産年齢人口の社会増減が転入超過を維持している。

V. 参考：合志市まち・ひと・しごとアンケート

人口ビジョン策定の為に「合志市まち・ひと・しごとアンケート」を
8月10日から配布、同月26日を回収期限として実施した。

【調査方法】

- ・ 調査方法 調査票の配布回収による定量調査
(※一部、記述回答方式の設問を挿入した定性調査を含む。)
- ・ 合志市の各行政区(86区)から任意に抽出
- ・ 指定の年齢層(5歳区分) 10%に送付(総人口5.9万人)
- ・ 指定の年齢層(5歳区分) 15-19歳層 ~ 65-69歳の計11層
- ・ 男女比率 1:1
- ・ アンケート配布数 6,000部
- ・ 郵送により調査票を送付、回収

【回収結果】

- ・ 回収数 1,570部(回収率26.1%)
- ・ 男女比 男44.8%(704部) 女54.6%(858部) 不明8部
- ・ 年齢層
 - 15-19歳 4.7%(75部)
 - 20-24歳 3.2%(51部)
 - 25-29歳 5.7%(90部)
 - 30-34歳 7.2%(114部)
 - 35-39歳 11.7%(185部)
 - 40-44歳 10.6%(167部)
 - 45-49歳 8.1%(127部)
 - 50-54歳 8.4%(133部)
 - 55-59歳 10.0%(158部)
 - 60-64歳 13.9%(219部)
 - 65-69歳 15.4%(243部)
 - 不明 0.5%(8部)

合志市まち・ひと・しごとアンケート

市民のみなさまへ

平素から市政に対しましてご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

合志市では、地方創生に関する市の「人口ビジョン」を描き、その実現に向けた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。市民の皆さまの率直なご意見をお尋ねし、市の将来のあるべき姿を見据えて、「しごと」をつくり、「ひと」が集うことで「まち」を創生する「総合戦略」の参考にさせていただくため、合志市まち・ひと・しごとアンケートを実施いたします。

調査にあたっては、平成27年8月6日現在、市に住民登録されている15歳以上の方から無作為に6,000人を抽出いたしました。ご多用のところお手数でございますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

平成27年8月
合志市長 荒木義行

【ご記入にあたって】

- ・封筒のあて名となっているご本人がお答えください。(記入については代筆でも結構です。)
- ・この調査は、無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。あなた自身のご意見をありのままにご記入ください。
- ・回答は、番号に○(マル)を付けてください。(囲んでも結構です。)
- ・ご記入が終わりましたら、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて8月26日(水曜日)までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

この調査の 問い合わせ先

〈合志市人口ビジョン及び総合戦略策定支援業務受託者 ㈱R-CONNECT(アールコネクト)〉
☎(096)273-6029 (受付時間)8/13,8/14を除く平日10:00~15:00
〈合志市役所 政策部 政策課 政策班(合志庁舎)〉 ☎(096)248-1028(政策班直通)

25歳以上の方に質問です(Q1~Q3まで)

Q1. あなたが合志市に住んでいる理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①親や祖父母の世代から住んでいる ②引っ越してきた

Q2. Q1で「①親や祖父母の世代から住んでいる」と回答した方に質問です。あなたが住み続ける理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。「⑧その他」の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①親や祖父母がいるから ②友人・知人がいるから ③安全で住みやすいから ④自然が多い
⑤職場(学校)が市内だから ⑥職場(学校)は市外だが通勤(通学)圏内(1時間以内)だから
⑦子育てがしやすいから ⑧その他()

Q3. Q1で「②引っ越してきた」と回答した方に質問です。あなたが引っ越してきた1番の理由は何ですか。思いつく理由を簡単に書いてください。

()

15歳～24歳の方に質問です (Q4～Q7まで)

Q4. 合志市に住み続けますか。1 つだけ番号にマルをつけてください。

- ①住み続ける ②市外への引っ越しを考えている

Q5. Q4で「①住み続ける」と回答した方に質問です。あなたが住み続ける理由は何ですか。
1つだけ番号にマルをつけてください。「⑦その他」の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①親や祖父母がいるから ②友人・知人がいるから ③安全で住みやすいから
④自然が多いから ⑤職場(学校)が市内だから ⑥職場(学校)は市外だが通勤(通学)圏内(1時間以内)だから
⑦その他()

Q6-1. Q4で「**②市外への引っ越しを考えている**」と回答した方に質問です。あなたが**引っ越し**を考えている理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。[**⑨その他**]の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①市外在住者と結婚するから ②親や祖父母から独立したいから ③友人・知人がいないから
④地域の安全に不安があるから ⑤都会の方が便利だから ⑥職場(学校)が市外だから
⑦その他()

Q6-2. 同じくQ4で「②市外への引っ越しを考えている」と回答した方に質問です。あなたは将来、合志市に戻って住みたいと思いますか。

- ①はい ②いいえ

Q7-1. Q6-2で「①はい」と答えた方に質問です。あなたが合志市に戻って住みたい理由は何ですか。
1つだけ番号にマルをつけてください。「⑩その他」の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①親や祖父母の近くで生活したいから ②友人・知人がいるから ③安全で住みやすいから
④自然が多いから ⑤合志市の風土が好きだから ⑥実家が近いと経済的に楽だから
⑦就職したい企業があるから ⑧合志市での生活に慣れているから ⑨合志市に貢献したいから
⑩その他()

Q7-2. Q6-2で「②いいえ」と答えた方に質問です。あなたが合志市に帰って住みたくない理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。〔⑨その他〕の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①実家を離れたいから ②友人・知人が少ないから ③都会の方が便利だから
④広いエリアで働きたいから ⑤大手企業が少ないうから ⑥給料が安そうだから
⑦志合市の風土が好きではないから ⑧就職したい会社がないから
⑨その他()

15歳から49歳の方に質問です。(Q8～Q12まで)

Q8. あなたは既婚者ですか独身ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①既婚者 ②独身者

Q9 あなたは将来、何人子どもを欲しいと思いますか(現在いる子どもの数も含めて)。
1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①0人 ②1人 ③2人 ④3人 ⑤4人以上

Q10. あなたの希望する子どもの人数に必要な1番の条件は何ですか。(独身者は結婚したと仮定してください。)
1つだけ番号にマルをつけてください。[⑨その他]の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①家計のゆとり ②時間の余裕 ③精神的なゆとり ④保育施設
⑤地域の人のサポート ⑥夫または妻のサポート ⑦親など夫婦以外の家族のサポート
⑧勤務先の理解とサポート ⑨その他()

Q11. 現在、子どもがいますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②いいえ

Q12. Q11で「①はい」と答えた方のみに質問です。
合志市での子育ての環境についてA～Kを評価してください。該当する点数にマルをつけてください。

		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
A	保育園、幼稚園の入りやすさ	1	2	3	4	5
B	子どもの医療費の負担	1	2	3	4	5
C	学校の近さ	1	2	3	4	5
D	防災・防犯の安心さ	1	2	3	4	5
E	学習環境のよさ	1	2	3	4	5
F	緑や自然、まちなみなどの景観	1	2	3	4	5
G	交通・通学の便利さ	1	2	3	4	5
H	病院の近さ	1	2	3	4	5
I	買い物のしやすさ	1	2	3	4	5
J	公園などの遊びやすさ	1	2	3	4	5
K	就職(正社員・パート・アルバイト)のしやすさ	1	2	3	4	5

すべての方への質問です。ご意見をお聞かせください(Q13～Q19まで)

Q13. あなたは男性・女性どちらですか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①男性 ②女性

Q14. 現在のお住まいに住んでいる年数を教えてください。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①3年未満 ②3～5年 ③5～10年
④10～20年 ⑤20年以上

Q15. あなたは合志市に愛着がありますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q16. あなたは合志市のまちづくりに関心がありますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q17. あなたは合志市で子ども会やPTA、自治会などの市民同士の交流をもとめていますか。
1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q18. あなたにとって合志市は「地元」と言えますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q19. 「合志市」と聞いてあなたが最初におもいついたことはなんですか。簡潔に書いてください。

()

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。